

第2回 樋橋地区まちづくり推進委員会 議事録【要約】

開催日時 平成28年9月16日(金)
午後3時00分～午後4時30分
開催場所 佐久平交流センター 第5会議室

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項

- (1) 地区計画制度について
別途資料により事務局が説明

(委員)

樋橋地区は組合施行であるが、地区計画を適用させたときに組合施行は可能なのか？

(進行役)

可能である。「地区計画」の考え方として、プラスにとらえ、制約というよりはエリアの価値を高めると考えた方がよい。

- (2) 土地区画整理事業について
進行役より講話

日本における土地区画整理事業の経緯（戦後復興の手段と人口増かによる新市街地形成）
最近の土地区画整理事業の傾向（景気低迷と人口減少による土地区画整理事業の減少）
土地区画整理事業成立のための条件（土地の価値をあげることが前提条件）
持続可能なまちづくりについて（地権者と一般市民が共に連携した公民連携の機能が必要）
土地区画整理事業を進めるうえでの構造について（都市計画、地区計画、公民連携の構造）

- (3) 樋橋のまちの将来像について
別途資料により事務局が説明

- (4) 質疑応答
(進行役)

全体としては、佐久市の自然環境を生かしたまちづくりにしたいという大きな方向性があり、その中で樋橋はいろいろな計画もあるが、人や情報が集まる場所ということが前提となる。

その上で地区計画に反映させる樋橋のビジョンを来週から具体的に話し合っていきたい。

(委員)

樋橋で完結させず旧市街地につなげなければならないが、公共交通機関が少ないとの声が多い。樋橋が良くなり、他の地域がダメになるという危惧を指摘している。それを踏まえた上で道路形状など、ビジョンも作ってもらいたい。

(委員)

臼田、浅科、望月、地区外の商工業の立場からしてみれば、樋橋の議論は他人事で遠い話に感じる。樋橋は発展すると思うが、地区外にも光を当てるように一緒に事業を進めてもらいたい。

(進行役)

実際には佐久平だけで完結する話ではなく、観光行動も広域化している。

佐久市全体の中での樋橋の必要な役割、機能を次回からのワークショップやミーティングで提案いただければと思う。

(委員)

バスターミナル等の話があったが、賛成。

問題は誰がそれをやるか。我々は、土地は提供できるが、事業母体は誰がやるのか議論が必要になってくる。

(委員)

「佐久市の強み」の説明では「良いイメージ」を挙げたが、むしろ「悪いイメージ」の方が問題。悪いイメージをどうするかが今回のテーマの目の付け所なのではないか？

(委員)

次回のワークショップの進め方だが、10年、20年先には我々はいない。その頃に携われる若い世代に入ってもらい堅実的な進め方を希望する。

(進行役)

次回の課題について、子どもや孫、周りの若い世代と一緒に考えてきてほしい。

また、佐久市のイメージについてだが、弱みを補うような提案も良いので資料を参考にさせていただきたい。

(委員)

今回の開発計画は、佐久市民の住みやすさを目指すのか、市外の人からの集客を目指していくのか。市外の人からの視点に立つと、ビジョンの考え方も違ってくると思う。

(進行役)

ビジョンを考えるにあたり、樋橋に住む人か、佐久市民か、市外の人々の立場か、いろいろな立場を考えなければならないし、重層的で広い視点で考えなければならない。

(委員)

佐久市民の税金は佐久市民のために使うのが前提。

この委員会の意見が反映されるというのが、どの程度なのかというのが疑問。

(進行役)

税金とイメージするとまずは佐久市民のためが第 1 となり、一方で広域的な人のためにつくることにより、佐久市の稼ぎになるという見方もできる。その点も含めて考えていきたい。

2 点目のどこまで反映されるかという点については、第 1 義的には地区計画に委員会の意見を反映させるのが一番大きい。それが最後までどの程度反映されるかは、この委員会が良い提案をするということによるかと思う。

(5) 第 3 回会議について

進行役より次回の内容を説明

次回の第 3 回目の会議は 10 月 25 日 (火) に予定。

8 閉 会